



維持 第3章 維



大田原土木事務所
保全部 浜野 勝 部長

国道400号は物流や防災の面からも非常に重要な道路です。トンネルや橋などの構造物が多いのが特徴で、大田原土木事務所では、皆さんが安全で

快適な道づくりは美化から。地域に支えられてきましたー

安心して通れるように、日々パトロールを行い、舗装の穴埋めから構造物の補修など、道路維持のためにさまざまな工事を行っています。しかし、道路の脇に捨てられたごみや雑草などの対応に苦慮しているのが現状です。県では、道路の環境美化活動に取り組むボランティア「愛ロードとちぎ」事業への登録団体を募集し、多くの人に協力してもらっています。きれいな道路の維持のため、美化活動に取り組んでくださる皆さんに、大変感謝しています。

道路はつくって終わりではありません。維持・管理する人たちがいることで、安全・安心に、そして快適に利用することができます。国道400号の維持・管理を担う行政機関の大田原土木事務所や、ボランティアで道路の環境美化活動を行っている人たちにその思いを聞きました。

身近な生活インフラである道路。さまざまな立場の人が道路に関わることで、私たちの生活の快適さや便利さが保たれてきました。特に、まちの発展は道路網の整備とともに進んできたといっても過言ではありません。私たちに身近で大切な道路は、単に整備するだけでなく、きれいな状態を維持しながら使っていくことが大切です。

今回、広報なすしおばら発行400号をきっかけに着目した国道400号。国道400号は、さまざまな歴史を経て今に至っています。皆さんと市政をつなぐ広報なすしおばらも、道路のようにこれからも続いていきます。これからもよろしくお願ひします。

「愛ロードとちぎ事業」登録募集

県が管理する道路を、県や市と連携して美化活動を行う、3人以上の団体・企業を募集しています。今年3月末現在、県内で243団体が活動しています。内容など詳しくは県のホームページを見てください。

▶問い合わせ

県大田原土木事務所保全部
☎0287(23)6544



栃木県
ホームページ

8月は道路ふれあい月間です。皆さんも道路の役割や重要性を考えてみましょう。

特集400号 終



普段何気なく通る道路にも、長い歴史や人々の思いがありました。道はこれからも進化していくのです。

環境や自然への一人一人の意識が広がってほしいー



年6回の美化活動を行う団体「グリーンベル」。(株)生駒組が県の「愛ロードとちぎ」事業に登録し、昨年から(株)久保重機建設、松本興業(株)も参加

太夫塚周辺の国道400号沿いのごみ拾いを平成17年から続けてきました。維持補修する立場としても道路は身近な存在ですが、車で通るだけでは異状を発見しにくいのが実情です。だからこそ、定期的に歩きながら行うごみ拾いで道路の健康状態を見る意義があると

思いますし、きれいな状態の道を皆さんに利用してほしい、という意識が原動力になっています。ごみを捨てる活動も大切ですが、ごみを捨てない心を持つことが一番大切だと思っています。言葉より先にアクションで示していきたいです。



いこま 株式会社生駒組
生駒 憲一 代表取締役



塩原温泉観光協会
田代 剛央 さん

観光協会では、毎年4月に「クリーンキャンペーン」として観光協会会員のほか一般の参加者を募り、西那須野塩原インターチェンジから尾頭トンネル手前までの区間や、渓谷周辺の美化活動を10年以上実施しています。塩原の自然は、観光で来た人にとっても感動し

てもらえます。バイパス整備により旧400号となった道路の一部は「大正浪漫街道」と名称を付け、ドライブだけでなく歩いて歴史や文化を感じたり、自然を散策したりできるエリアとしています。自慢できる塩原の景色を、皆さんに見てもらいたいです。



今年は90人以上がキャンペーンに参加。活動を通してきれいな観光地が維持されている

おもてなしは、「ずっとここにいたい」と思える場づくり。その始まりは道ですー